



笹竜胆だより



教育目標「自ら考え 互いに助け合い 粘り強くやり抜く生徒」

ホームページ版(生徒名は、名字のみ)

令和7年度 阿木中学校通信 令和7年12月26日

校長 齋藤 篤史

12/4(木) 阿木中の文化が薫る

「合唱発表会(授業参観)」

初雪が降る朝を迎え、約1か月延期していた「合唱発表会」を開催することができました。阿木こども園、阿木小学校5年生・6年生、保護者や地域の方と、およそ100名の方々に参観していただきました。

また、PTA 家庭教育部主催の映画の上映会にも多くの皆さまに参加いただきました。ありがとうございました。



12/5(金)ひびきあい集会

「12/4～12/10 人権週間(人権デー)」に合わせて、事前に行った「人権に関わる内容のアンケート(これまでの学校生活を振り返る)」の結果をもとに、「ひびきあい集会」を行いました。

人権アンケート結果【裏面：全校の結果まとめ】から、主に「グループで行う実験や作業に入りにくそうにしている子に声をかける」、「人の失敗を笑ったり、冷やかしたりしない」、「人を傷つける言葉を使わない」といったことについて、全校生徒で話し合いました。

それを受けて、校長から次のような話をしました。

「この世の中から、『いじめ』をなくすことはできるのか？」「世の中から戦争をなくす」と同じくらい難しい。

いじめているつもりがなくても、相手ににとっては「いじめ」となっていることがある。

また、人は、容易に自分を正当化するが、自分の過ち(非)を認めることが苦手である。

では、私たちは何を大切にすべきなのか。今日、話し合ったことに、大きな価値がある。

そして、大切なのは、実践すること。行動に移すことです。

周りの人たちに優しい言葉をかけることで、心豊かな生活を生み出します。相手を尊重し、元気づける言葉を選ぶことで、人と人とのつながりをより深めることができます。

一見簡単なことに思えますが、実は「心の広さ・深さ」が必要です。次の4つから取り組んでみましょう。

- ① いつでも、どこでも、誰とでも、笑顔で、あいさつしましょう。
- ② 人を傷つける言動は、絶対にしません。
- ③ 悲しい思いをしている人がいたら、声をかけてあげましょう。
- ④ 感謝するときは、「ありがとう」、謝らないといけなときは、「ごめんなさい」を言いましょう。

この4つが実行できる人は、相手を尊重している、本当にすごい人です。

「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」は、魔法の言葉。相手も自分も大切にしている証です。

言われた人はもちろん、言った人にも、勇気と力を与えてくれる。

私(校長)は、誰もが笑顔でいられる学校であってほしい。阿木中学校での当たり前であってほしい。

各種表彰の紹介 … 頑張りました。おめでとうございます。

○令和7年度 中津川市冬季中学生バレーボール大会(11/30)

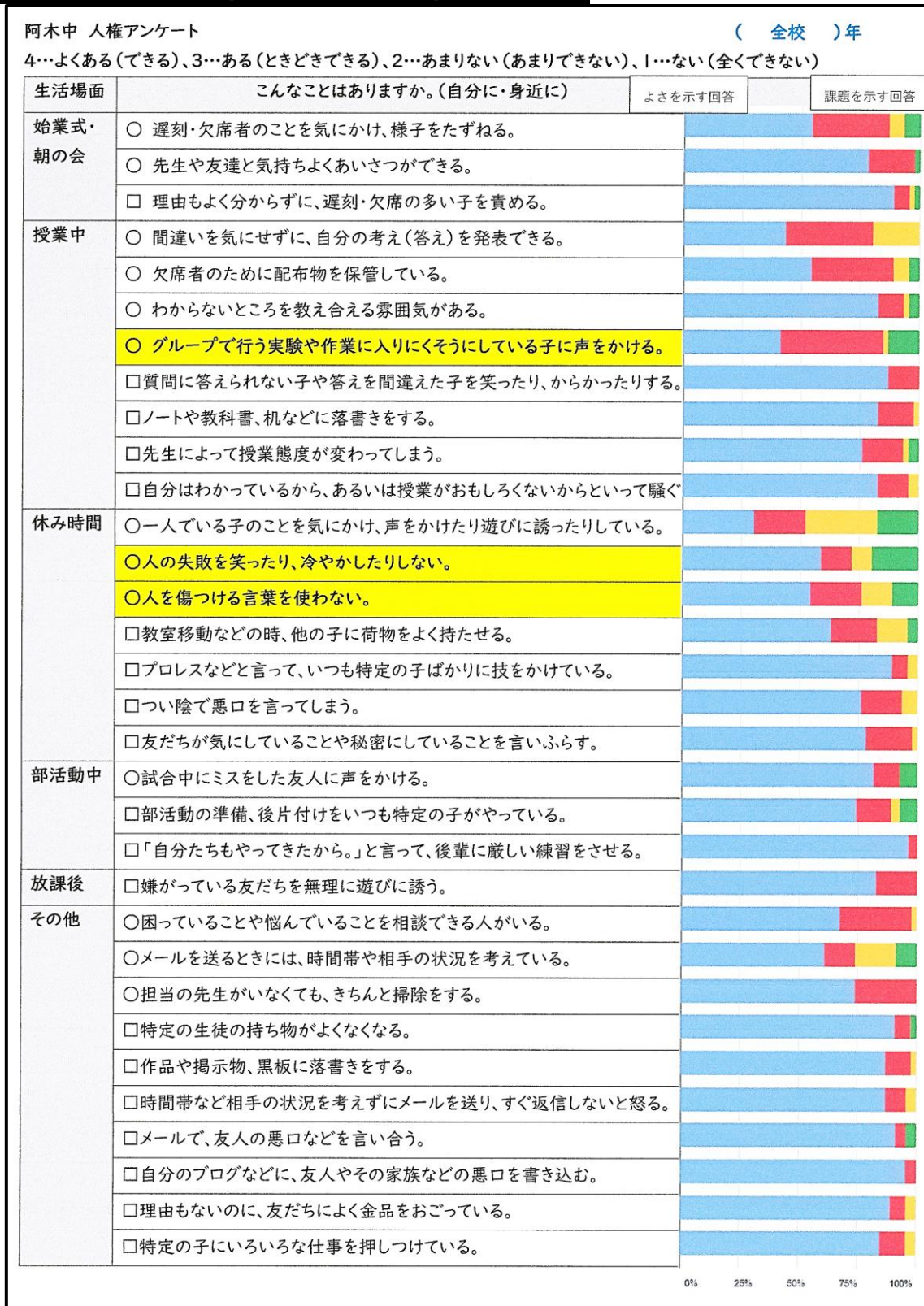
男子 **優勝** 阿木・上矢作・山岡 中学校



○スターゼンカップ・第56回日本少年野球春季全国大会岐阜県支部予選(11/29)

優勝 岐阜中濃ボーイズ<1年 伊藤さん> 2026/3/26(木)～31(火)全国大会(神奈川県)に出場予定

人権アンケート結果【全校の結果まとめ】



「いじめ防止対策推進法」における「いじめの定義」は、児童生徒が心身の苦痛を感じている行為を指します。
加害側の意図の有無にかかわらず、被害者が苦痛を感じればいじめと判断されます。

また、その具体例としては、次のようなものが挙げられます。

- ・冷やかしかや、からかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ・仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして、叩かれたり蹴られたりする。
- ・金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ・嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ・パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷、嫌なことをされる。

